

# チャペル週報

No.15

2019.9.30 ~ 10.4

あなたがたに新しい掟を与える。  
互いに愛し合いなさい。  
わたしがあなたがたを愛したように、  
あなたがたも互いに愛し合いなさい。  
(ヨハネによる福音書 13章34節)



時計台 (大学博物館)・エンブレム

関西学院宗教センター

---

☆ チャペル・スケジュール ☆

---

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

---

9月30日(月) 神 夏期派遣実習報告 米田 満瑠(神学研究科M1)  
経 学生生活オリエンテーション Part 2 ①  
人 献血実行委員会  
理 前川 裕(宗教主事)  
聖和 聖書物語「どうやって祈るの」

---

10月1日(火) 神 橋本 かおり(日本基督教団 夙川東教会牧師)  
文 Andreas Rusterholz(宗教主事)  
社 わたしにとっての "Mastery for Service" ① 橋本 祐樹(神学部助教)  
法 大宮 有博(宗教主事)  
経 学生生活オリエンテーション Part 2 ②  
商 音楽チャペル 聖歌隊  
国 Chapel in English Eun Ja Lee(宣教師)  
理 前川 裕(宗教主事)  
総 ボランティア活動支援センター ヒューマン・サービス支援室  
教 チャペルオリエンテーション 梶原 直美(宗教主事)

---

10月2日(水) 神 福万 広信(初等部宗教主事)  
社 わたしにとっての "Mastery for Service" ② 打樋 啓史(宗教主事)  
法 Christian Morimoto Hermansen(宣教師)  
経 学生生活オリエンテーション Part 2 ③  
商 山本 俊正(宗教主事)  
人 河鱈 一彦(人間福祉学部教授)  
国 音楽チャペル 聖歌隊  
理 前川 裕(宗教主事)  
総 村瀬 義史(宗教主事)  
教 献血実行委員会

---

10月3日(木) 神 Christian Triebel(神学部助教)  
文 Andreas Rusterholz(宗教主事)  
社 Chapel in English Timothy O. Benedict(宣教師)  
法 大宮 有博(宗教主事)  
経 学生生活オリエンテーション Part 2 ④  
商 西本 章宏(商学部准教授)  
総 近藤 亜花莉(総2)、鳥居 貴文(総1)  
聖和 「8.6 広島平和学習」参加者報告礼拝

---

10月4日(金) 院 今考えていること 掛江 隆史(神学研究科M2)  
神 浅野 淳博(神学部教授)  
文 Chapel in English Andreas Rusterholz(宗教主事)  
経 学生生活オリエンテーション Part 2 ⑤  
人 木原 桂二(北山バプテスト教会牧師)  
理 前川 裕(宗教主事)

---

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)  
10月4日(金) 言語コミュニケーション文化研究科のために  
上田 和彦(言語コミュニケーション文化研究科委員長)

---

# 自分のもつ半分を — 世界聖餐日(10/6)によせて

打樋 啓史

秋学期のチャペルアワーが始まり、またチャペルに集うようになりました。「チャペル」とは教会以外のキリスト教学校や病院など施設にある礼拝堂のことですが、語源であるラテン語「カペラ(capella)」はそもそも私邸内の礼拝堂を意味しました。この名称は4世紀フランスのトゥールの司教マルティヌスという人物に遡ります。マルティヌスは、カトリック教会の聖人で、フランス(フランク王国)の守護聖人とされた人です。

彼はもとローマの兵士で、母親はキリスト教徒でしたが、彼自身キリスト教に関心はありませんでした。フランスに来ることになったマルティヌスがある雪の朝赤いマントを着て馬で出かけようとする、雪のなか半裸で震えている貧しい高齢の男性に出くわしました。かわいそうに思い、寒いから着物をあげようとマントを脱ぎましたが、考えると自分も寒い。そこでマルティヌスは外套を剣で裂いて、半分をその老人に渡して出かけていったのです。

その夜、マルティヌスの夢にイエス・キリストが現れました。キリストは半分に分った赤いマントを着ています。そして言いました。「最も小さい者の一人にしたのは、私にしてくれたことなのだ。」(マタイ25:40)あなたは私にマントを着せてくれたのだと。マルティヌスはこれを機にキリスト教に目覚めて洗礼を受け、軍隊をやめて、キリストの教えを説いて回るようになります。

このマント／外套のことをラテン語で「カペラ」と言いました。後にフランク王国の時代にマルティヌスが守護聖人とされ、このマント(カペラ)のマルティヌスが持っていた方の半分が「聖マルティヌスのマント」としてフランク王国の歴代国王の礼拝堂に保管されたのです。こうして国王の邸宅の礼拝堂にカペラが収められたので、この礼拝堂も「カペラ」と呼ばれるようになりました。これが「チャペル」という語の由来とされています。

私たちが慣れ親しんだ「チャペル」という言葉が、マルティヌスが自分のもつ半分を困窮する人に与えたことに遡るといえるのは、とても印象的ではないでしょうか。「ひとつのパン(資源)を分かち合うこと」がテーマとなる世界聖餐日にあたって、チャペルに集う私たちも、苦悩に満ちたこの世界で、「自分はどんな『半分』を差し出すことができるのか」「自分にとっての赤いマント／カペラとは何か」を静かに思うことができればと願います。

(社会学部宗教主事)

### ●秋の献血週間(西宮上ヶ原キャンパス)のお知らせ

宗教総部では、秋の献血週間を実施します。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いします。

期 間：9月30日(月)～10月4日(金)

受付場所：吉岡記念館ラウンジ

主 催：宗教総部献血実行委員会

### ●関西学院チャペルオルガニスト秋の発表会

各学部のチャペルで演奏を担当するチャペルオルガニストはじめレッスン生たち51人が練習の成果を披露します。演奏曲はJ.S.バッハ、D.ブクステフーデ、F.メンデルスゾーンなどです。パイプオルガンに関心のある方、そしてランパス記念礼拝堂に入ったことのない方もどうぞお気軽にお越しください。

演奏中以外は入退場自由です。(入場無料、申し込み不要)

と き：10月5日(土) 10:00～16:00(途中昼休憩有り)

と ころ：ランパス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

指導者：太宰まり、能島亜未、坂倉朗子、西山聡子

主 催：宗教センター <入場無料>

### ●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アブローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。

【どなたでもご自由にご参加ください。】(17:50～18:20 1405教室)

10月主題：「イエスのたとえ話に学ぶ」

10月3日(木) 井上 智(宗教センター宗教主事)

10日(木) Christian Triebel(神学部助教)

17日(木) 山本俊正(宗教総主事)

24日(木) 山本俊正(宗教総主事)

31日(木) 村瀬義史(総合政策学部宗教主事)

### ●関西学院会館ベーツチャペル日曜礼拝のご案内

授業期間中の第二・第四日曜日(原則)に、教職員と学生有志による礼拝が行われます。

どなたでも(クリスチャンでなくても)参加できますのでどうぞお越しください。

10月13日(日)、27日(日) 10:00～11:00

関西学院会館ベーツチャペル

### ●オルガン音楽の泉 2019 Fall semester

パイプオルガンの響きに想うお昼のひとつ、どなたでもご自由にお楽しみください。

第34回 10月15日(火) 朴 秀美(カトリック芦屋教会オルガニスト)

第35回 11月29日(金) 椎名雄一郎(活水学院オルガニスト)

第36回 12月13日(金) 能島亜未(本学オルガン講師)

いずれも12:50～13:20[開場12:40予定]

と ころ：関西学院中央講堂(125周年記念講堂)

主 催：宗教センター

---

### ◆CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

### ◆使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協会の(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

### ◆盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室ははじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。